

横浜日独協会

～会長新春メッセージ～ 2015年も伸びやかな日独交流を！

年の瀬に湧き上がる「第九・合唱」。東西ドイツ統一の前から、オリンピックでドイツ国歌の代わりに演奏されていました。欧州評議会も第四楽章の前奏部分を「ヨーロッパの歌」に採択しています。シラーの詩（歓喜に寄せて）にベートーヴェンが曲を付けたこの歌は、人々が手を取り合って自由と平等と結束を実現させようという強烈な同胞愛を歌い上げています。ドイツだけでなく欧州全体を包み込むような力強さと広がりを感じさせますね。

私たちの横浜日独協会は、横浜とドイツの架け橋を目指して設立され、今年10月に5周年を迎えます。横浜市はじめ会員や関係者のご支援を頂き、会員数も個人・法人合わせて160を超えました。毎月の例会で文化・芸術・経済など幅広い分野で講演会や演奏会を催しております。また作文コンテストによる日独の若者相互派遣を実施していますし、横浜の経済を支える中小企業の日独交流も進めています。今年も明るく・楽しく・前向きな（ATM）活動を、更に伸びやかに発展させましょう。

2015年が皆さま一人ひとりにとっても、横浜日独協会にとっても実り多い年になりますようにお祈りいたします。（了）